

報道関係者各位

2015年11月18日
野村不動産株式会社
紅忠スチール株式会社
株式会社稲葉製作所

3社共同でマンション用 メーターボックス扉を開発
～高品質化や工期短縮、コストダウンを実現～

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：宮嶋 誠一）、紅忠スチール株式会社（本社：東京都中央区/代表取締役社長：藪内 茂行）株式会社稲葉製作所（本社：東京都大田区/代表取締役社長：稲葉 明）は共同で、スチール家具の技術を応用したマンション用のメーターボックス扉を開発しましたのでお知らせいたします。

これにより、同扉の品質向上ならびに工事の効率化や工期短縮、コストダウンが可能となります。



3社で共同開発したマンション用 メーターボックス扉

1.開発の背景

これまで、マンション住戸用のメーターボックス扉は、物件ごと・住戸ごとにデザインや大きさが異なるため、規格化されておらず、施工の際には溶接や塗装など6段階の工程を経て設置されていました。

このような従来工法では、製造と現場施工に長期間を要すること、またコストもかかることが課題となっており、3社による新たなマンション用メーターボックス扉の開発がスタートする運びとなりました。

2.特徴とメリット

- ・ 物置やキャビネット等を製造する稲葉製作所の工場内自動化ラインを用いるため、**大量生産が可能**
- ・ 組み立てや取り付けが施工現場で可能な構造とし、**施工工程が従来の 6 段階から 2 段階に減少**
 - 枠を取り付ける際の溶接・モルタル詰め・コーキング（※1）が不要な、ビス止め施工
 - 現場塗装が不要
 - **ワンタッチで取り付けや交換が可能**な差し込み方式（※2）
- ・ 従来の現場ペンキ塗装に比べ、劣化しにくく仕上がりが繊細
- ・ 塗装の耐用年数が従来の 7～8 年から **10 年程度まで延長**
- ・ **従来の 1/3～1/2 に設置コストが低減**
- ・ 安価かつ簡易に取り外し交換可能な構造につき、**将来的にはマンション修繕費用が低減**

なお、本商品は「アイコモン」の名称にて商標登録申請中です。

今後、野村不動産は本商品を賃貸マンション「プライドフラット」（年間約 300 戸開発予定）へ順次導入予定です。稲葉製作所は本商品の開発によって、スチール家具の技術を応用し、建築資材という新たな事業分野に参入します。また、紅忠スチールは、同商品を市場に広く紹介し拡販を図ってまいります。

【脚注】

※1：モルタル、コーキング…いずれも、メーターボックス本体と扉の間のわずかな隙間を埋めるための充填剤

※2：差し込み方式…稲葉製作所の特許



野村不動産の賃貸マンションシリーズ「プライドフラット」に順次導入予定。
（写真はいずれもイメージ/プライドフラット東神田（左） プライドフラット三軒茶屋Ⅱ）

本件に関するお問い合わせ先

野村不動産(株)
広報部 半田・阿部・相澤
TEL：03-3348-7805

紅忠スチール（株）
管理部 市岡
TEL：03-6225-5400

（株）稲葉製作所
広報・企画室 石関
TEL：03-3759-5201